

# 富士宮西ロータリークラブ 会報



Rotary



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリークラブ第2620地区 2021～2022年度 RI会長 シェカール・メータ  
会長 今村 一徳 幹事 矢部 英樹



例会場より

例会場 ゲストハウス フォレストヒルズ 例会日 毎週金曜日 月の最終週 夜間  
事務所 〒418-0034 静岡県富士宮市黒田 205-1 ゲストハウス フォレストヒルズ内  
TEL 0544-22-8899 FAX 0544-22-7666 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

## NO. 3 通算 1455 号 2021. 7. 16 (金)

### 本日の予定

クラブ協議会／

第1回会員増強進行報告と対策協議

### ゲストビジターの紹介

副会長 矢部英樹君

なし

### 会長挨拶

会長 今村一徳君

いよいよ来週から東京オリンピック開催です。今回の東京オリンピックは準備段階からいくつかの



問題があり、その上世界的なコロナウイルス感染などで、経験のない厳しい状況での開催になってしまいました。参加アスリート達が今まで積み重ねた努力の結果が出るような素晴らしい競技ができることを願うのみです。私はオリンピックで思う事は、以前講演で伺ったことのある昭和39年の東京オリンピック時の選手村コック長の話です。その方は“ムッシュ”の愛称で親しまれた、元帝国ホテル総料理長村上信夫。昭和、平成の激動の時代に料理長を務め、帝国ホテルのみならず日本におけるフランス料理の発展に貢献しました。

村上信夫は、昭和14年に見習いとして帝国ホテルに入社。昭和30年から欧州に料理研修でフランスに留学し、その後昭和44年に再び欧州へ料理研修に赴いた後、帝国ホ

テルの第11代料理長に就任。以来平成8年まで26年料理長を務めました。昭和33年、村上は新たなレストランのオープンにあたり、日本初のビュッフェ形式レストランの開店を主導。日本においてビュッフェ形式のレストランが「バイキング」として広まるきっかけとなりました。昭和39年の東京五輪では、選手村食堂の料理長の一人として、様々な国の料理を習得するため、大使館を通じ、大使夫人から直接料理を学ぶなどして、各国選手のために腕を振るまいました。大会後、村上の下に日本全国から集まった料理人たちが地元に戻って洋食店を開いたことは、日本各地に洋食文化が広まるきっかけにもなりました。また、料理を大量に供給するために、食材の冷凍保存に要する設備や調理法の調査・研究が進められ、村上は積極的に冷凍食材の使用に挑戦しました。これは、その後の日本における冷凍技術の普及を後押しすることになり、その他には昭和35年からNHK「きょうの料理」に講師として長年出演。フランス料理のみならず、一般家庭への洋食の普及にも貢献しました。このように素晴らしい料理人であり、多くの書籍を残し、その中で私が感銘した内容が「一流とは」一流の料理人になるには4つの教えがあり、1に味覚、2に料理技術、3に盛り付けのデザインセンス、4はお客様への感謝の気持ち、実は一番大切なのは、4のお客様への感謝の気持ち。1から3までは経験で身に着ける事はできるが、4はその人の心の在り方であり、お客様が喜んで頂けることに感謝を感じることが出来なければ一流とは言えない。食べ残された方やお口に合わなかった方へ、ご満足い

【会報委員会】 委員長：伊原謙治 委員：仲亀秀樹 片岡博昌 石田道彦 近藤憲司 斉藤邦男

ただけなかった事は何か？次には必ずご満足いただけるために努力する事。事実、村上シェフは、帝国ホテルで食べ残されたお客様に、直接自分が伺い、残されたのはどうしてなのか教えていただき、お客様からは、食べきれなかったと言われ、次回から注文を伺う際には、料理のボリュームをご説明してご希望の量をお伺いするようにフローメンバーと決めたそうです。東京オリンピックの時には、各国のアスリート達に日本初のオリンピックである以上、ぜひ日本料理を食べて頂きたいが、日本料理をそのまま出しても、それぞれの文化風習味覚が違う上に、世界レベルのアスリートたちの健康管理も考慮した料理を提供しなければならないために、各国の料理の味を研究し日本の料理とアレンジして提供しました。選手たちが自国に帰って日本での料理の素晴らしさに、満足して頂きたいと思い研究し提供したと言われました。この事が、まさに一流の4つ目の教えと思いました。全てがお客様への感謝。全てのお客様にご満足して頂ける為に、日夜努力をして提供している料理人が一流の料理人であり、そのシェフの料理が一流の料理と言われました。また、高級と一流は違い、高級料理は高い価格の料理で、一流の料理である訳ではないと言われました。私は4つ目の一流の教えは、全てに通じると思っています。お客様への感謝の気持ちを忘れる事なく、常に一流の心構えで、たゆまぬ努力をしていきたいと思えます。

## 幹事報告

## 幹事 矢部 英樹君

別紙幹事報告参照

## 出席報告

欠席者 早川英寿 細野芳男 外木規之  
宇佐美量三 渡辺弘光 渡邊奈津実

【備考】仲亀秀樹さんは休会中

|    | 計算会員数 | 出席 | 欠席 | M U | 比率     |
|----|-------|----|----|-----|--------|
| 今週 | 23    | 19 | 7  | 0   | 82, 6% |

## スマイルボックス

- 傘のない生活…久しぶりです 若林真治君
- 施設の全職員にボーナス… 私もボーナスが欲しいです 矢部英樹君
- 奥さんの誕生日でした もうすぐ60才です 石川俊洋君

## お祝い・記念日

夫人誕生日 石川俊洋君夫人 由香里様 7月20日  
堀水東志夫君夫人 富美子様 7月21日

## クラブ協議会

### 第1回会員増強進行報告と対策協議

担当 会員増強・研修統括委員長 後藤憲治君

地区のホームページでは現在77クラブのうち、当クラブを含め15クラブが、写真掲載のフェースブック等で各クラブをアピール



しています。ロータリークラブは全世界では5月現在1,198千人、クラブ数36,782アクトも217千人2019年度において158千人入会するも164千人が退会。うち52%が入会後3年未満退会理由は34%が費用や時間の負担、20%がクラブの環境17%が期待に添わない。続ける理由を100周年実行委員会アンケートによると、70%が異業種交流70%生涯の友人仲間ができる55%自己研鑽、成長の機会が与えられる55%例会がたのしい40%奉仕活動ができるということになっています。さて、退会会員の埋め合わせとして、新入会員の増強をすることではありません。当クラブも30年経過し、次の40周年までには必ず全員が10歳年を取ります。平均年齢74歳継続できない会員も出てくるでしょう。会員の減少。継続不可の可能性もあります。将来的なものを考慮して、仲間を増やしていきましょう。さて、本日は、3チームに分かれて討議を行ってもらいます。増強委員会は本日第1回、12月1週第2回、4月3週目第3回とあり、来月最終例会では研修委員会の内部研修を行います。今回の第1回としては誰を入れるかではなく、クラブとして次のことを考えてください。

退会者を防止するにはどうすべきか

リーダーはどうしたらよいか 入会しているメリットは何か

仲間を増やすにはどうしたらよいか

活性化の手段としては理念の本質が正しく理解されているか

ロータリーの魅力に陰り、誇り愛着が薄れつつあるのはどうしてか

候補者カードは回収します。

これには可能性あるなしに関わらずまず全員が1名名前をあげてください。

入会しているメリットは何か。地域社会での奉仕活動や職業人としての成長できる機会を与えられています。それにはクラブが健康であるかどうか、各人が自覚しなければならない。会員の規範を正しく持ち、会員事業所の不祥事、社会の信頼を損なうようなことは行わないよう心がけなければなりません。